

平成30年度3月補正予算案の概要

◆ 1. 補正予算の概要 ◆

消費税率引き上げに伴う対応として、国の補正予算を活用し、プレミアム付商品券の発行に向けた準備を進めるとともに、その他の財政需要に対応するため、補正予算を編成する。

◆ 2. 補正予算の規模 ◆

一 般 会 計	29億1,000万円
特 別 会 計	97億6,700万円
企 業 会 計	4億1,200万円
合 計	130億8,900万円

◆ 3. 補正予算の内容 ◆

I 歳入歳出予算補正

(1) 消費税率引き上げに伴う対応

(一般会計)

- プレミアム付商品券事業 1億1,500万円 (経済観光局)
〔2019年10月からの商品券発行に向けた準備経費〕
〔低所得者や子育て世帯に対し、利用可能額25,000円の商品券を20,000円で販売〕

(2) その他の財政需要

(一般会計)

- 都市整備等基金積立 3億9,800万円 (企画調整局)
〔旧(公財)都市問題研究所の解散に伴う残余財産の積立〕
- 他会計繰出金 13億1,900万円 (行 財 政 局)
- 予備費 △5億円 (行 財 政 局)
- 生活保護費 2億円 (保 健 福 祉 局)
- 高齢重度障害者医療費助成制度 5,000万円 (保 健 福 祉 局)
- 国庫支出金等返還 13億2,800万円 (保 健 福 祉 局)
(こども家庭局)

(特別会計)

- 公債費 △3億100万円 (行 財 政 局)
- 国民健康保険事業費 38億4,400万円 (保 健 福 祉 局)
 - ・国民健康保険財政安定化基金積立 17億9,900万円
 - ・国庫支出金等返還 20億4,500万円
- 介護保険事業費 62億2,400万円 (保 健 福 祉 局)
 - ・介護給付費等準備基金積立 40億9,300万円
 - ・国庫支出金等返還 21億3,100万円

※このほか、国民健康保険事業費において既決予算の財源更正を行う。

(企業会計)

○交通事業基金積立

4億1,200万円 (交 通 局)

[妙法寺変電所跡地の売却に伴う積立]

○財源内訳

(単位：百万円)

	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	市 債	その他特定財源	一般財源
一般会計	2,910	265	1,232	—	413	1,000
特別・企業会計	10,179	—	—	—	8,860	1,319
合 計	13,089	265	1,232	—	9,273	(1,319) 2,319

※ 一般財源として、株式等譲渡所得割交付金 4億円、地方消費税交付金 6億円を充当

※ () 内は、一般会計からの繰入金

○予算額累計

(単位：百万円)

	予算現計	今回補正額	補正後予算額
一般会計	804,894	2,910	807,804
特別・企業会計	992,024	10,179	1,002,203
合 計	1,796,918	13,089	1,810,007

II 繰越明許費補正

(一般会計)

(単位：百万円)

所 管 局	事 業	補正前	補正額	補正後
企 画 調 整 局	名谷エリアの活性化等	177	29	206
行 財 政 局	本庁舎建替えに伴う整備等	2,962	144	3,106
経 済 観 光 局	プレミアム付商品券事業等	1,079	154	1,233
各 局	—	35,431	—	35,431
一般会計 計		39,649	327	39,976

※百万円未満を四捨五入しているため、合計があわない場合がある